



8

特別企画
目でみる
歴史
組立体操の



運動会の定番種目に位置付けてきた組立体操であるが、2010年には10段のピラミッドが披露される。その様子が公開されたインターネット上の動画サイトは1ヶ月足らずで57万回以上のアクセスを記録したという。「絆の10段ピラミッド」「男子137人、綿密設計図」と題してマスコミでも報じられた(朝日新聞、10月22日付け夕刊)。そして、ピラミッドやタワーの巨大化・高層化の傾向はさらに顕著になっていった。

しかし、事態は急展開する。

2014年、名古屋大学の内田良氏によって巨大化・高層化に伴う事故のリスクが問題提起されると(9)、ヤフーニュースのトップ



ページに掲載され、社会の関心が一気に高まり、マスコミもその危険性を報じ始めた。

そして、憂慮の声は国会にまで届く。今年2月5日の衆議院予算委員会で、初鹿明博議員(維新の党)が馳浩文科大臣に「この際ですから、もうやめましようよ。文科相として組体操、たった一日の運動会のために子どもを犠牲にすることはやめよう」と決断して下さ

い」と、組立体操そのものの廃止を迫る。時を同じくして、組立体操がもつ負の体験から厳しい批判が上が

り、巨大なピラミッドや高層のタワーだけでなく、すべての組立体操の廃止を求める声も高まった。

大阪市教育委員会はピラミッドと



10

①教育専門書の表紙を飾る組立体操。今後は「5段ピラミッド」も廃止されるかもしれない。志水宏吉他編著『よみがえれ公立中学』(有信堂高文社、1991年)より。②2014年5月19日、「【緊急提言】組立体操は、やめたほうがよい」と題して、事故のリスクが問題提起された(ヤフーニュース)。③2016年2月24日、組体操での安全確保について馳文科相(右から4人目)に申し入れる超党派議員連盟。(共同通信)

まで踏み込んだ。

いま、組立体操への風当たりはかつてないほど強い……。

タワーを禁止し、千葉県の流山市、柏市、野田市などいくつかの市町は組立体操そのものの全面的な廃止に